

総合型選抜（自己推薦型選抜〔離島枠〕）の新設

医学部保健学科看護学専攻

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。次について、告知方お願いいたします。

【内容】

鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻では、鹿児島県における離島出身者の進学機会困難の解消と島嶼部における看護職不足に貢献することを期待して、令和 9 年度入学者選抜(令和 8 年度実施)から、新たに鹿児島県内の離島出身者を対象とした総合型選抜(自己推薦型選抜〔離島枠〕)を実施します。

1. 総合型選抜(自己推薦型選抜〔離島枠〕)新設の背景と目的

本県の離島地域の現状と課題としては、人口減少や高齢化の進行による地域社会の活力低下、輸送費加算による物価高騰、所得水準の低さなどがあります。また、教育環境としては、生徒数の少ない学校における専門教員確保の困難、学習塾などの進学準備の選択肢の少なさ、大学入学共通テストの島外受験などの課題があり、離島出身者においては大学への進学機会の確保が困難な状況であると考えられます。一方で、鹿児島県における看護職者の偏在化があり、高齢化や健康課題の多様化が進む中で離島地域における看護人材の確保が課題となっています。

本学医学部保健学科は、自主自律と進取の精神をもって、グローバルな視野をもち、離島・へき地を含めた地域医療の発展に寄与できる人材を育成することを役割としており、離島出身者の進学機会の確保と離島地域で活躍する看護職の確保による持続可能な離島医療を支える医療人材育成を目指して、看護学専攻の入学者選抜試験に「総合型選抜(自己推薦型選抜〔離島枠〕)」を新設することとしました。

2. 総合型選抜(自己推薦型選抜〔離島枠〕)実施の効果

離島枠の設置によって離島の高校生において、進学先の選択肢を広げることや進学機会の確保につながり、将来的には離島および鹿児島県の大学進学率上昇が見込まれます。また、将来の大学院進学を含め、離島でのリーダーとなり得る高度な実践のできる看護職を毎年2名ずつ輩出することで、離島地域における保健医療福祉の充実に寄与し、持続可能な医療体制構築にも貢献できると考えています。

3. 離島枠学生への相談支援

入学時から看護学専攻内に支援チームを立ち上げ、将来のキャリア形成に向けた相談支援を実施するとともに、学部教育での特別な教育プログラムを提供します。卒業後も 3 年間の離島での勤務を達成できるように継続的に支援します。

【入試制度の詳細】

鹿児島大学ホームページ > 入試案内 > 入試の変更点 > 令和9年度入学者選抜(令和8年度実施)における選抜方法等について(医学部) <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/2027-henkou11.pdf>

【問い合わせ先】

医歯学総合研究科等事務部 学務課保健学教務係 担当:濱田 099-275-6724